

第58期
中間事業報告

I. 連結決算ハイライト

II. トップメッセージ

III. 部門別概況

IV. トピックス

V. 連結財務諸表

VI. 会社概要



AVELCO Co.,Ltd.

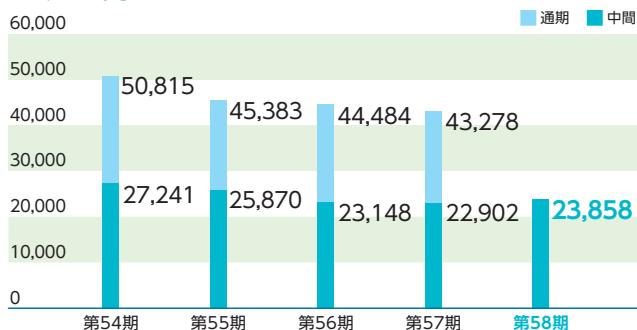
BUSINESS REPORT 2012 [2011年10月1日～2012年3月31日]

連結決算ハイライト

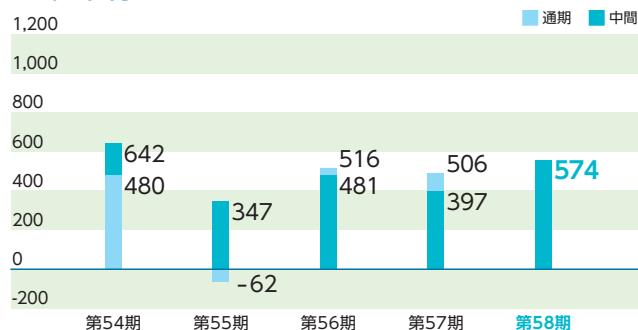
■ 財務ハイライト

		第 54 期 平成20年9月		第 55 期 平成21年9月		第 56 期 平成22年9月		第 57 期 平成23年9月		第 58 期 平成24年9月
		中間	通期	中間	通期	中間	通期	中間	通期	中間
売上高	(百万円)	27,241	50,815	25,870	45,383	23,148	44,484	22,902	43,278	23,858
経常利益	(百万円)	642	480	347	△62	481	516	397	506	574
中間(当期)純利益	(百万円)	342	182	93	△165	196	162	203	276	285
1株あたり中間(当期)純利益	(円)	32.27	17.15	8.81	△15.62	18.50	15.30	19.16	26.04	26.90
総資産	(百万円)	26,795	24,475	23,681	22,198	23,210	22,340	22,190	22,153	23,562
純資産	(百万円)	13,084	12,834	12,820	12,819	12,978	12,901	13,057	13,080	13,306
自己資本比率	(%)	48.8	52.4	54.1	57.7	55.9	57.7	58.8	59.0	56.5
自己資本中間(当期)純利益率	(%)	2.6	1.4	0.7	△1.3	1.5	1.3	1.6	2.1	2.2

■ 売上高 (単位:百万円)



■ 経常利益 (単位:百万円)



■ 中間(当期)純利益 (単位:百万円)



■ 1株あたり中間(当期)純利益 (単位:円)



トップメッセージ



代表取締役社長
阿部 一成

■ 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社は、戸建住宅事業・大型物件事業における工物品質の向上で、売上・利益の安定的な成長を実現していくことを目指しています。また、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題のひとつとして認識しております。配当につきましても安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。

株主の皆様におかれましては、今後とも当社事業へのご理解と変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

■ 当中間期の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、急激な円高や欧州債務問題の影響による減速局面はあったものの、その後は超円高の是正や米国における個人消費の回復、自動車産業の本格的な増産体制などにより緩やかな回復基調で推移いたしました。その一方、原油価格の高騰や中国内需の成長鈍化による輸出の減少、さらには長期化するデフレの影響など景気を下振れさせる懸念材料も依然残っており、日本経済の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する住宅業界におきましては、昨年の9月以降、新設住宅着工戸数は5か月連続で前年同月比を下回るなど低調に推移してはいましたが、2月には前年同月比で6か月ぶりに7.5%の増加に転じ、3月も前年同月比で5%増加と2か月連続で前年同月比を上回るなど、「復興支援・住宅エコポイント制度」や省エネ性の高い住宅への住宅ローン金利を優遇する「フラット35Sエコ」などの住宅取得支援策を背景に持ち直しの動きが見られました。

このような環境のもと、当社グループは期初に設定した中期3か年計画において、工事業者としての責任と誇りを持ち、競合他社以上の価値のある商品や工物品質を提供することを目指した「バリュー・イノベーション・カンパニー」を経営ビジョンとして定めております。そのビジョンの実践に向けた取り組みの一環として、本年6月、埼玉県川口市に「総合技術研修センター」を新設オープンいたしました。当研修センターでは実際の戸建住宅現場に近い環境での実践的な研修が可能のため、専門技能工の育成やスキルアップ、施工管理者の管理能力強化に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、分譲マンション向けのタイル販売やタイル工事が順調に推移した結果、売上高は238億58百万円と前年同四半期に比べ9億56百万円(4.2%)の増収となりました。損益面につきましては、タイル販売量が増加したことに加え、大型タイル工事の収益率が改善した結果、営業利益は5億17百万円と前年同四半期に比べ1億69百万円(48.8%)の増益、経常利益は5億74百万円と前年同四半期に比べ1億76百万円(44.4%)の増益、四半期純利益は2億85百万円と前年同四半期に比べ82百万円(40.4%)の増益となりました。

部門別概況

大型物件事業

- …タイル工事
- …住宅設備工事

期間	単位: 百万円
第57期中間	1,490 1,722
第58期中間	1,676 1,995

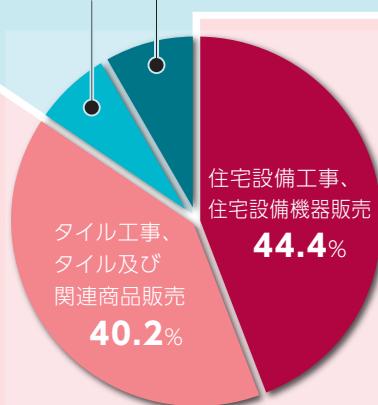
大型物件事業におけるタイル工事につきましては、昨年前半より回復している商業施設や集合物件の着工戸数増加により、完成工事高は前年を大きく上回りました。損益面につきましては、ルーバー工事や大型陶板工事などの付加価値の高い物件が増加したことや、原価管理の徹底と販管費の削減により、収益率を改善することができました。

住設工事につきましては、施工工程が順調に進捗したことから完成工事高は堅調に推移いたしましたが、収納家具工事において、震災による工期遅延と仕掛け物件の集中に起因した部材や外注費の大幅な高騰により、採算割れの物件が複数発生いたしました。

その結果タイル工事部門の売上高は16億76百万円、住宅設備工事部門の売上高は19億95百万円、大型物件事業全体では、36億72百万円となりました。

今後においては、タイル外壁の剥離修繕用に採用される「エポキシ樹脂注入の新工法」や、特殊金具を使用した建物の壁面下地面からの仕上げ寸法の最小化が可能な「大型陶板施工の新工法」などによるタイル工事、リニューアル工事の受注拡大と、併せてバイオスキンやルーバー等の新商材の市場開発に注力してまいります。

タイル工事 **7.0%** 住宅設備工事 **8.4%**



戸建住宅事業

- …住宅設備工事、住宅設備機器販売
- …タイル工事、タイル及び関連商品販売

期間	単位: 百万円
第57期中間	10,933 8,756
第58期中間	10,588 9,597

戸建住宅事業における住宅設備の販売及び工事につきましては、大手住宅設備機器メーカーの統合再編が進む中、競争が一段と激化したことを受け、売上高は前年並みの推移となりました。

タイル・サイディングを中心とする外壁工事につきましては、施工体制の拡充と受注強化により売上高は前年を大きく上回りました。タイル販売につきましては住宅着工戸数の回復を背景に売上高は大幅に伸長いたしました。損益面につきましては、市場占有率の高いタイル販売やタイル貼り外壁工事の売上高が増加したことに加え、オリジナルタイルブランド「マリスト」商品の販売比率が拡大したことにより収益性が改善いたしました。

その結果、タイル・サイディングを中心とする外壁工事、タイル及び関連商品販売部門の売上高は95億97百万円、住宅設備工事、住宅設備機器販売部門の売上高は105億88百万円、戸建住宅事業全体では201億86百万円となりました。

下期につきましては、重点商材として注力している「サイディング工事」、「太陽光発電システム」、オリジナルタイルブランド「マリスト」とオリジナル高級浴槽「アルティス」の積極的な販売活動を展開するとともに、工事品質の向上に向け、埼玉県川口市に「総合技術研修センター」を新設し、実際の戸建住宅現場に近い環境での実践的な研修を実施し、専門技術工のスキルアップや施工管理者の管理能力向上に努めてまいります。

トピックス

■『総合技術研修センター開設』のご案内

平成24年6月1日に『株式会社アベルコ総合技術研修センター(埼玉県川口市)』を開設いたしました。

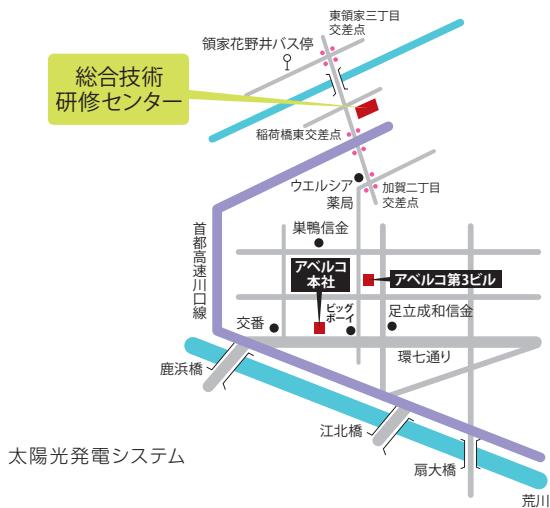
当社では、平成18年に東京物流センター内に研修施設を、翌年には神奈川県横浜市に神奈川施工研修センターを開設し、ユニットバスの組み立て研修を中心とした施工研修を実施してまいりました。しかしながら、近年の深刻な職人不足を背景に、建設業界全般にわたって施工技術の低下が懸念され始めてきたなかで、社内でも今まで以上に汎用性の高い研修施設が必要ではないかとの声が高まってきました。大切な現場をお任せいただく工事会社として、従来は立地的な制約から思うように実施できていなかった外壁の研修や、ここ数年で大幅に増加している太陽光発電システムの実地研修、その他住宅に関わる様々な実技研修が可能な施設が必要と考え、昨年準備を進めてまいりました。



研修用戸建住宅



太陽光発電システム



総合技術研修センター 概要

- 【所在地】埼玉県川口市東領家4-2-2 【アクセス】日暮里・舎人ライナー<谷在家駅>徒歩19分
JR線<川口駅>または、東京メトロ南北線<川口元郷駅>より東領家循環<領家花野井バス停>より徒歩5分
- 【営業時間】8:30~17:30
- 【定休日】年末年始、土日祝

■ 実現場に極力近い環境を求めて

有効に活用していくためにはどのような施設にすべきかが一番大きな課題でした。試行錯誤を重ねた結果、様々なシーンで応用が利くよう、約35坪の実物大の2階建て戸建住宅を1棟まるごと用意することとなりました。在来木軸で組上げた住宅には、外壁研修用の常設足場を設置し安全教育も含めた研修が可能となりました。寄棟と切妻を組み合わせた屋根では、太陽光発電システムの実地施工が行えます。建物内部ではユニットバスをはじめとする住宅設備機器の組み立てが複数同時にできるようになり、以前は不可能だった建物内への資材搬入等の諸注意等も実現場と同じ緊張感で行うことが可能となりました。

住宅の専門工事会社として、施工技術レベルの維持・向上を図っていくと共に、取引いただいているお客様との共有施設として様々な場面で活用してまいりたいと考えております。

連結財務諸表

■ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第58期中間	第57期中間	第57期中間	科目	第58期中間	第57期中間	第57期中間
資産の部	23,562	22,190	22,153	負債の部	10,256	9,132	9,072
流動資産	18,123	16,627	16,686	流動負債	9,569	8,460	8,398
現金及び預金	4,057	4,236	5,012	支払手形・工事未払金等	4,724	4,342	4,402
受取手形・完成工事未収入金等	12,243	10,730	9,892	ファクタリング未払金	3,449	2,971	2,946
有価証券	100	—	—	リース債務	8	6	8
商品	390	336	392	未払法人税等	263	116	69
未成工事支出金	945	1,029	978	未成工事受入金	381	413	294
材料貯蔵品	17	19	15	完成工事補償引当金	10	14	8
繰延税金資産	185	192	207	工事損失引当金	75	96	44
その他	338	298	355	その他	656	498	624
貸倒引当金	△155	△216	△169	固定負債	686	671	674
固定資産	5,439	5,562	5,466	リース債務	20	24	24
有形固定資産	4,099	4,102	4,083	退職給付引当金	98	77	90
建物及び構築物(純額)	905	919	902	役員退職慰労引当金	10	9	9
機械装置及び運搬具(純額)	5	4	2	役員退職慰労未払金	45	45	45
工具、器具及び備品(純額)	68	63	62	その他	511	514	504
土地	3,083	3,083	3,083	純資産の部	13,306	13,057	13,080
リース資産(純額)	27	30	31	株主資本	13,282	13,029	13,060
建設仮勘定	8	1	—	資本金	896	896	896
無形固定資産	181	201	188	資本剰余金	848	848	848
のれん	23	35	29	利益剰余金	11,569	11,317	11,347
その他	158	165	158	自己株式	△32	△32	△32
投資その他の資産	1,157	1,258	1,195	その他の包括利益累計額	24	28	20
投資有価証券	171	218	208	その他有価証券評価差額金	24	28	20
長期貸付金	2	3	9				
繰延税金資産	166	161	149				
その他	1,289	1,393	1,238				
貸倒引当金	△472	△517	△411				
資産合計	23,562	22,190	22,153	負債・純資産合計	23,562	22,190	22,153

■ 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	第58期 中間	第57期 中間	第57期
売上高	23,858	22,902	43,278
売上原価	20,951	20,102	38,075
売上総利益	2,907	2,799	5,203
販売費及び一般管理費	2,389	2,452	4,793
営業利益	517	347	409
営業外収益	66	59	114
営業外費用	9	9	17
経常利益	574	397	506
特別利益	—	33	99
特別損失	32	5	39
税金等調整前中間(当期)純利益	541	426	566
法人税、住民税及び事業税	249	103	171
法人税等調整額	6	119	118
中間(当期)純利益	285	203	276

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第58期 中間	第57期 中間	第57期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△747	538	1,390
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140	△58	△88
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67	△66	△112
現金及び現金同等物の増減額	△955	413	1,189
現金及び現金同等物の期首残高	5,012	3,823	3,823
現金及び現金同等物の期末残高	4,057	4,236	5,012

■ 会社概要

(平成24年3月31日現在)

社名	株式会社アベルコ
代表者名	阿部 一成
創業	大正13年3月
設立	昭和30年3月
本社所在地	東京都足立区鹿浜3丁目3番3号
資本金	896百万円
事業内容	タイル・住宅機器・衛生設備機器・空調機器・管材・輸入石材の卸販売及び設計施工・工事請負
連結売上高	43,278百万円(平成23年9月期)
連結社員数	560名
取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社東京都市銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 三井住友信託銀行株式会社

■ 役員

(平成24年3月31日現在)

代表取締役社長	阿部 一成
専務取締役	岡本 孝一
常務取締役	船橋 朗
常務取締役	永澤 正博
常務取締役	高橋 正志
常勤監査役	佐藤 和男
監査役	川上 敏宏
監査役	田口 明

株主メモ

○ 事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
○ 定時株主総会	毎年12月開催
○ 基準日	<ul style="list-style-type: none"> ● 定時株主総会……毎年9月30日 ● 期末配当金……毎年9月30日 ● 中間配当金……毎年3月31日 ● そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

○ 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
○ 株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	郵便物送付先 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
	電話照会先 ☎ 0120-176-417
	インターネットホームページURL http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

○ 公告の方法	当社のホームページに掲載します http://www.avelco.co.jp
○ 上場証券取引所	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)